

(試験規定 別表1)

GPA制度による評価

特に、海外への留学や就職時にGPA制度による成績評価が必要な場合、申出により、学則の成績評価に基づき、下記の基準で評価する。

GPA制度 (Grade Point Average)

欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0までの点数(GP=グレード・ポイント)に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。

将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度です。

GPAの評価対象科目

評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目。

GPAの成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合否
66.7%以上	100~90点	A(4.0)	合格
	89~80点	B(3.0)	
	79~70点	C(2.0)	
	69~60点	D(1.0)	
	59~0点	F(0.0)	不合格

(注) 規定の出席率を満たし、A~D評価の場合は単位認定され(合格)、F評価は単位認定されない(不合格)。

GPAの計算方法(例)

(例) 7科目履修として

○○概論 (2単位)	95点 (A)	4.0 (GP)
××演習 (4単位)	80点 (B)	3.0 (GP)
△△研究 (2単位)	75点 (C)	2.0 (GP)
□□学 (2単位)	93点 (A)	4.0 (GP)
●●制作 (4単位)	76点 (C)	2.0 (GP)
■ ■ 企画 (3単位)	63点 (D)	1.0 (GP)
● ● 演習 (1単位)	57点 (F)	0.0 (GP)
合計 18単位		

$$4.0 \times (2+2) \text{ 単位} + 3.0 \times (4) \text{ 単位} + 2.0 \times (2+4) \text{ 単位} + 1.0 \times (3) \text{ 単位} \\ 18 \text{ 単位}$$

$$\text{GPA} = 43 \div 18 \approx 2.39$$